

2012 Formula Nippon Rd.3
AUTOPOLIS
26 MAY 2012

予選

観客数: 5,455 人 (天候 : 曇後晴)



2012年フォーミュラ・ニッポン第3戦の予選が大分県のオートポリスにおいて開催され、PETRONAS TEAM TOM'S のドライバー、中嶋一貴、アンドレ・ロッターは、7番手、12番手から各々決勝をスタートすることとなった。

- 中嶋は朝のフリー走行でトップタイムをマーク。第3戦も好調であることを示した。
- ロッターはアタック時、トラフィックに阻まれたため、アタックをやり直す寸前にチェッカーが出るという、チームとのミスコミュニケーションでQ2敗退となった。
- 中嶋は、クルマが予選において公式練習走行時よりタイムが伸びないことに違和感を感じていた。
- オートポリスは、このイベントの前にコース路面を改修し、

平坦で滑らかなコースとして生まれ変わった。

Drivers	Car No.	Q1	Q2	Q3
Andre Lotterer	1	P4 1:29.481	P13 1:31.535	
Kazuki Nakajima	2	P9 1:29.842	P4 1:29.385	P7 1:29.903
Weather	Overcast/Dry			
Temperatures	Air: 20-20 C	Track: 28-28 C		

アンドレ・ロッター (1号車ドライバー)

“トラフィックに引っかかったので間隔を空けたら、最終コーナーでチェッカーフラッグが振られているのが見えて、アタックはもう駄目だった。残り時間が少ないことを分かっていたのならもう少し早目にコースインしてアタックすべきだった。3周目はタイヤの状況がもっと良くなっていただろうから、Q3に進むことは出来たと思う。実際、予選アタックはしなかったということだ。新しいコース路面は最高でとてもスムーズだが、アンダーステアが出てしまった。リヤのグリップは良いのだが、フロントタイヤはほんの少し振動が出る。中古タイヤのバランスはとても良いのだが、ニュータイヤは良くない。明日の決勝は前のクルマをできるだけ抜くつもりだ。的確な作戦を立てて良いレースを展開し、少しでも多くのポイントを獲得したい”

中嶋 一貴 (2号車ドライバー)

“練習走行のような調子が続いてほしかったけれど、Q1の時点で朝とは違うぞと感じた。セッティングを少し変えて行き、最後にQ3で渋滞にはまってしまった。アンドレやJ-PがQ2で敗退したのでチャンスだったのに、彼らとそれほど変わらない結果となってしまった。朝のフリー走行でトップタイムを出しておきながら、その後にタイムを更新出来なかったのは残念だ。どうしてこのような状況になったかを分析する必要がある。コースの状況が良くなってきているのに、自分の状況を良くできなかったのは本当に不思議だ。明日の朝の走行で燃費とタイヤの摩耗をチェックし、作戦をしっかり立ててポジションを上げたい”

東條 力 (1号車担当エンジニア)

“コースインして2周目に、アンドレがトラフィックに引っかかったためにペースを落としてタイムアタックの時間が無くなってしまった。アンドレを何秒かコースインさせるのが遅れてしまった。それにフリー走行では良かったのに予選になってからのタイムは良くないことが重なった。12番手からスタートの決勝は厳しいが、何とかポイントを得たい”

小枝 正樹 (2号車担当エンジニア)

“フリー走行で微調整して一貴はトップタイムをマークした。そこまでは良かったのだが、予選では我々が思った通りには行かなかった。セッティングはそれほど大きく変えてはいないので、コース状況の変化が原因で、タイムの更新が出来なかったのだと思う。データをチェックして、何が良かったのかを見つけ出さなければならない。決勝はいままでも強いので、明日は頑張りたい”

館 信秀 (チーム監督)

“最初にアンドレに謝らなくてはならない。もう少しコースインを早くしなくてはならなかった。彼は力を出し切らずにQ2で終わってしまった。そして一貴がなぜ遅かったのかが心配でならない。両ドライバー、特にアンドレは12番手からのスタートなので苦しいレースになる。昨年、一貴が後方からスタートして勝ったので的確な作戦でポイントを得たい”

2012 Formula Nippon Rd.3
AUTOPOLIS
27 MAY 2012

決勝

観客数 : 11,650 人 (天候 : 晴)

オートポリスで行われたフォーミュラ・ニッポン第 3 戦において PETRONAS TEAM TOM'S の中嶋一貴が 5 位、アンドレ・ロッターラーがリタイアという結果となった。

- ロッターラーは 11 周目、12 位を走行中にサスペンションの不具合でコースオフ。その後、ピットに戻ってリタイアとなった。
- 中嶋は 15 周を終えて燃料補給のためにピットイン。リヤタイヤを 2 本を交換してレースに復帰し、ポジションをひとつ上げた。

- 中嶋は 7 号車大嶋もパスして順位をひとつ上げ、5 位でフィニッシュして 4 ポイントを獲得した。



Drivers	Car No.	Result / Fastest Lap
Andre Lotterer	1	Retired
Kazuki Nakajima	2	P5 1:30.647
Weather	Sunny-Overcast	
Temperatures	Air: 26-25 C	Track: 50-39 C

中嶋 一貴 (2号車ドライバー)

“スタートがとても悪く、動き出した時点でポジションをひとつ下げてしまった、その後一台をパス、一台がコースオフしたが、山本にパスされてしまい、1 周目はスタートしたポジションと同じ 7 位だった。早めのピットストップを決め。タイヤはリヤだけを交換した。これによってポジションを上げることができ、残り 10 周の時点で大嶋もパスした。7 位からスタートしたことを考えれば、良い結果だと思いが、連続表彰台フィニッシュの記録は絶たれてしまった。今日は塚越のための日だった、われわれトムスとダンデライオンの 2 台、インパルの 2 台が選手権を面白くしている。次戦富士では予選から集中して行く”

アンドレ・ロッターラー (1号車ドライバー)

“ひどい週末だった。レースではいろいろなことが起こるけれど、自分には起きて欲しくないことが起こった。ここ 3 年トラブルに見舞われていなかったが、今日はリヤのサスペンショントラブルに見舞われた。突然壊れるという不思議なトラブルだった。スタートは良く、他車を抜こうとしたときに寄せられたので接触を避け、第 3 コーナーでコースをはみ出してグラベルに出してしまった。その後は燃費走行をしていたがトラブルが起きてしまった。塚越がポイントをリードしているが、まだ第 3 戦が終わったばかりだからまだチャンピオン云々は早計だ”

東條 力 (1号車担当エンジニア)

“いつものように、アンドレはスタートが良かったけれど、コースオフして順位を下げてしまった。朝にフリー走行ではレースセットで素晴らしいラップタイムを刻んだが 12 番手スタートからは良い結果を残すにはほぼ不可能だった。そしてチームとしては初めてのサスペンショントラブルが発生した。次の富士では予選に集中する”

小枝 正樹 (2号車担当エンジニア)

“二つの作戦を考えていた。一貴から山本に引かかっていると言ってきたので 15 周を終えてピットに入れた。リヤのみの 2 本交換は最初から決めていた。作戦は的中し、一貴がタイヤをうまく保ち安定した走行の結果、大嶋をパスして 5 位でフィニッシュしてくれた。決勝で良い結果を残すには予選の結果を良くしなければならない。富士では優勝を期待したい”

舘 信秀 (チーム監督)

“今年のレギュレーションでのフォーミュラ・ニッポンは予選結果がとても重要だ。予選結果が悪かったら決勝で良い結果を残すことは難しい。そういった意味でも我々にとってオートポリスの週末は良くなかった。アンドレはリヤサスペンションのトラブルでリタイアとなってしまった。これは珍しいことだし、チームにとっては初めてのトラブルだった。一貴は頑張ってくれてポイントを獲得してくれた。富士では再び我々が主導権を握って優勝、表彰台を目指す”